

記載例(油流出事故の場合)

様式 4

令和 年 月 日

浜松市長 中野 祐介 様

法人にあっては、主たる事業所の所在地を記載すること。

住所

法人にあっては、その名称及び代表者の氏名を記載すること。

氏名

事故報告書

令和●年●月●日、●●株式会社 ●●工場 より 油流出 事故を発生させ誠に申し訳ありませんでした。事故発生原因等を調査したところ、下記のとおりでしたので報告します。

記

1 事故発生時刻	・ 1月23日 午後 ・ 不明(2月1日 午後 探知) 等
2 事故発生場所 (住所、工場名等)	浜松市●区●●町●● (●●工場)
3 事故発生原因	・ 貯油タンクのドレインバルブが開口し、防液堤の排水口を開口していたため、A重油が公共用水域へ流出した。 ・ 油水分離槽の清掃を怠っていたため、油水分離槽の能力を超えて油分が蓄積し、公共用水域へ流出した。
4 流出した特定物質、有害物質又は油の種類及び量	種類：A重油 量：最大 200 リットル
5 周辺の状況(利水状況等)	・ ●●川では利水なし ・ 周辺の水田への取水はない ・ 漁場への影響は確認されない
6 被害状況	・ へい死魚は確認されず ・ 水田への流入は確認されない
7 汚染拡大予測等の事故の状況	事故発生後、直ちにオイルフェンスにて汚染拡大防止策を行ったため、下流への影響はない。
8 講じた措置の内容	●●がオイルマットを設置 ●●がオイルフェンスを設置(設置位置は別紙) ●●がバキュームカーにて油吸い取り ※水路の清掃等、土木事務所との対応についても記載してください。
9 その他・参考事項	油の成分表、工場内図面 油流出範囲地図、オイルマット設置状況写真